

現 象

クライアントプリンタ機能の処理手順の詳細について知りたい。

説 明

1. 用語「クライアントプリンタが構成される」

GO=Global for Windows サーバ（以下 GG サーバと略します）がクライアント側にあるプリンタを認識して、GG サーバ上にそのプリンタに対応するオートクリエイトプリンタが作成されること。この処理が正常に行われると、クライアント側の“print.ini”ファイルにそのプリンタに対応するセクションが作成され、設定情報等が記録されます。

<><>セクションの例<><>

[EPSON LP-900]

PrinterName=EPSON LP-900

PortName=LPT1:

DriverName=EPSON LP-900

PrintProcessor=WinPrint

Datatype=RAW

DefaultPrinter=Yes

Orientation=010001

PaperSize=090009

PaperLength=9A0BA5

PaperWidth=34083C

Scale=640064

Copies=010001

DefaultSource=070108

PrintQuality=2C012D

Color=010001

Duplex=010001

YResolution=2C012D

TTOption=000000

Collate=000000

<><>

2. 構成されるプリンタ

autoconfigprinters = “all” の場合は、クライアント側の全てのプリンタが構成されます。 autoconfigprinters = “default” の場合は、クライアント側のデフォルトプリンタおよび“print.ini”ファイル中に構成されたことがあるプリンタが構成されます。これに加え、PW (Program Window) の画面で手動操作で指定したプリンタを構成することが出来ます。なお、GG サーバ上にプリンタドライバが無い等の理由でオートクリエイトプリンタを作成出来ない場合は、そのプリンタは構成されません。

3. 構成されるタイミング

ログオン時の PW の初期化処理の中で各クライアントプリンタが構成されます。これに加え、PW の画面で手動操作でクライアントプリンタが設定された時もクライアントプリンタが構成されます。

4. ドライバの選択

CM (Cluster Manager) の画面で “Windows folder” が選択された設定では、プリンタの基本ドライバである “Native Printer Driver” が選択されます。CM の画面で “Universal Driver” が選択された設定では、プリンタの種類に依存しない “Universal Printer Driver” が選択されます。

5. ドライバの自動変更

“print.ini” ファイル中に既に構成情報があり、かつログオン先 GG サーバにそのドライバが無い場合は、その状態ではプリンタが利用できないため、GG は新規の場合と同様の手順でそのプリンタを構成します。従って、現在の構成情報が “Native Printer Driver” で、GG サーバにそのドライバが無い場合は、“Universal Printer Driver” を選択します。逆に、現在の構成情報が “Universal Printer Driver” で、GG サーバにその設が行われていない場合は、“Native Printer Driver” を選択します(注:それぞれのドライバが利用出来る場合)。

6. 注意事項

上記 5 の仕様に関連して、1つのクライアントが複数の GG サーバに接続する状況に於いて、GG サーバのクライアントプリンタ機能の設定が異なる場合、構成情報中のプリンタのドライバが “Native Printer Driver” から “Universal Printer Driver” (またはその逆)に切り替わる可能性があります。1つのクライアントが複数の GG サーバに接続する場合は、各 GG サーバのクライアントプリンタ機能の設定を同一にして下さい。

Last reviewed: Nov 12, 2009

Status: DRAFT

Ref: N/A

Copyright © 2009 kitASP Corporation